

1 デッキとレール

●漕手が乗るスペースを、コックピットといい、デッキパネルと呼ぶ平らな床にレールがとりつけられ、その上にスライディング・シート（座席）が乗っています。レールは、ネジで固定され、前後に調整できます。レールは前（シューズのある側）に向かってわずかに傾斜していて、これを「レールテーパ」と呼びます。



●ボートに乗るときは、レールの上や、ステッププレートだけを踏みます。デッキパネルや梁（はり、フレーム）は弱いところがあるので注意します。バランスを崩さないように、ボートの中心近くを踏むようにします。岸側に傾いてオールが桟橋に当たるのを防ぐために、どちらかといえば沖側に体重をかけることもあります。

●ナックルフォアの場合も同様に、船底を踏まないように注意してください。キールライン（竜骨）は踏んでも大丈夫ですが、踏みはずさないようにしましょう。

2 取扱と日常整備

●レールの状態を確認しましょう。

◎ ネジが緩んで前後にすべることがありませんか？

◎ 左右のレールの前端がそろっていますか？ : 左右のレール位置が違うと、前に出しすぎたレールが無駄であるばかりでなく、フロントストップにローラーが当たったときシートを回転させ、脱線の原因になります。



◎ レールの溝はきれいにクリーニングされていますか？ : 乗艇後、ボートを洗った後は、レールをウェスなどで拭き、シリコンスプレーなどを吹いておきます。アルミレールをステンレスボルトで固定するタイプは、海域ではレールが腐食しやすいので、乗艇後はよく洗い、またよく拭いて乾燥させることが大切です。定期的な分解・洗浄も大切です。